

小学校就学前児童 向け

千葉県子ども・子育て支援ニーズ調査
結果報告書

【概要版】

平成 31 年 3 月
千葉県子ども未来局

I 調査の概要

1 調査の目的

現在の「子ども・子育て支援事業計画」（千葉市こどもプラン）は、計画期間が平成31年度までとなっており、次期子ども・子育て支援事業計画を策定する必要があります。次期事業計画の策定にあたり、幼稚園、保育所、その他の子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び今後の利用意向を把握するため、アンケートを実施しました。

2 調査対象

行政区（6区）及び年齢（0～2歳・3～5歳の2区分）による12区分を設けた上で、区分ごとに市内在住の小学校就学前児童9,250人を無作為抽出。

3 実施期間

平成30年12月12日（水）～平成31年1月18日（金）

4 主な調査項目

- 保護者の就労状況・就労希望
- 幼稚園・保育施設等の利用状況・利用希望
- 地域子ども・子育て支援事業の利用状況・利用希望
- 保護者の育休取得状況・取得希望

5 調査票の配布・回収方法

直接郵送により配布・回収

6 回収状況

	配布数	回収数	回収率
今回調査	9,250	5,267	56.94%
前回調査	9,360	5,458	58.31%

7 報告書の見方

- 図表中の「n（回答者数）」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（％）の母数を表す。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。

II 調査結果

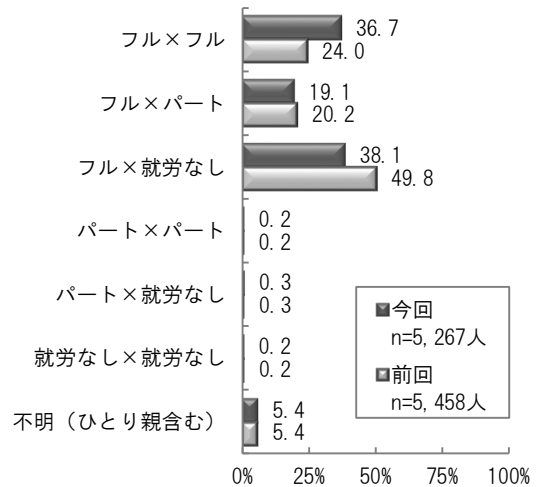
1 両親の就労状況

【図表 1-1】両親の就労状況

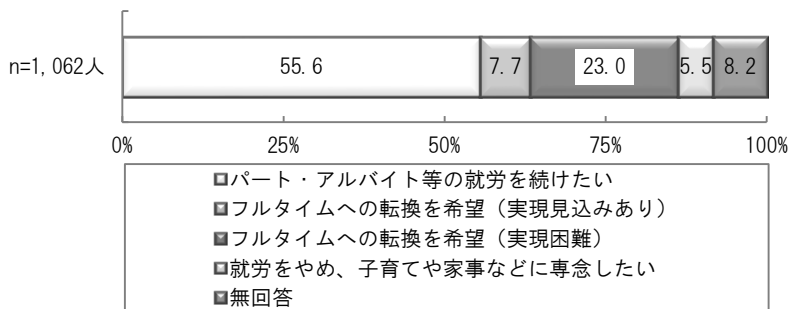
フルタイム … 週5日程度・1日8時間程度の就労
パートタイム… フルタイム以外の就労

調査対象の子どもの両親の就労状況は、「フルタイム×就労なし」が38.1%で最多、次いで「フルタイム×フルタイム」が36.7%、「フルタイム×パートタイム」が19.1%となっている。

家族類型	父親の就労状況	母親の就労状況
フル×フル	フルタイム就労	フルタイム就労
フル×パート	フルタイム就労	パート・アルバイト等
	パート・アルバイト等	フルタイム就労
フル×就労なし	フルタイム就労	就労していない
	就労していない	フルタイム就労
パート×パート	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等
パート×就労なし	パート・アルバイト等	就労していない
	就労していない	パート・アルバイト等
就労なし×就労なし	就労していない	就労していない
不明(ひとり親含む)	上記以外 (ひとり親又は、どちらかの就労状況が不明)	

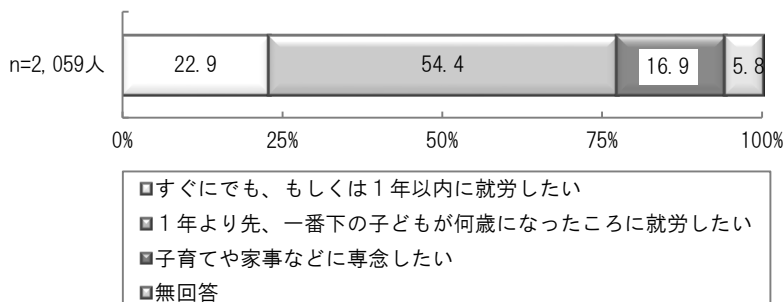


【図表 1-2】パート・アルバイト等で就労している母親の今後の就労希望



パート・アルバイト等で就労している母親の55.6%がパート・アルバイト等の就労の継続を希望し、30.7%がフルタイムへの転換を希望している。

【図表 1-3】就労していない母親の今後の就労希望

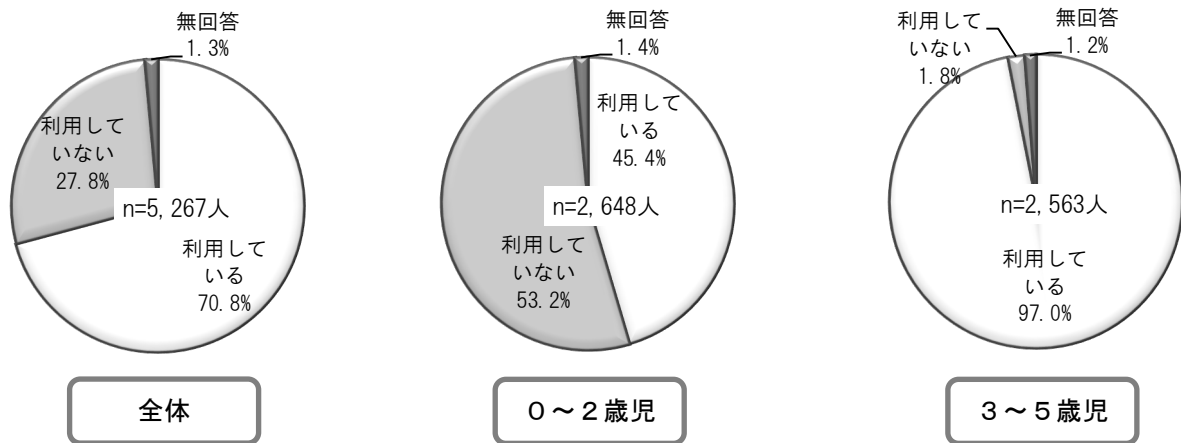


就労していない母親の77.3%が今後の就労を希望しており、うち54.4%が1年より先の就労を希望し、22.9%がすぐにでも(1年以内に)就労したいと希望している。

2 日常的な幼稚園・保育施設等の利用状況・利用希望

【図表 2-1】日常的な幼稚園・保育施設等の利用の有無

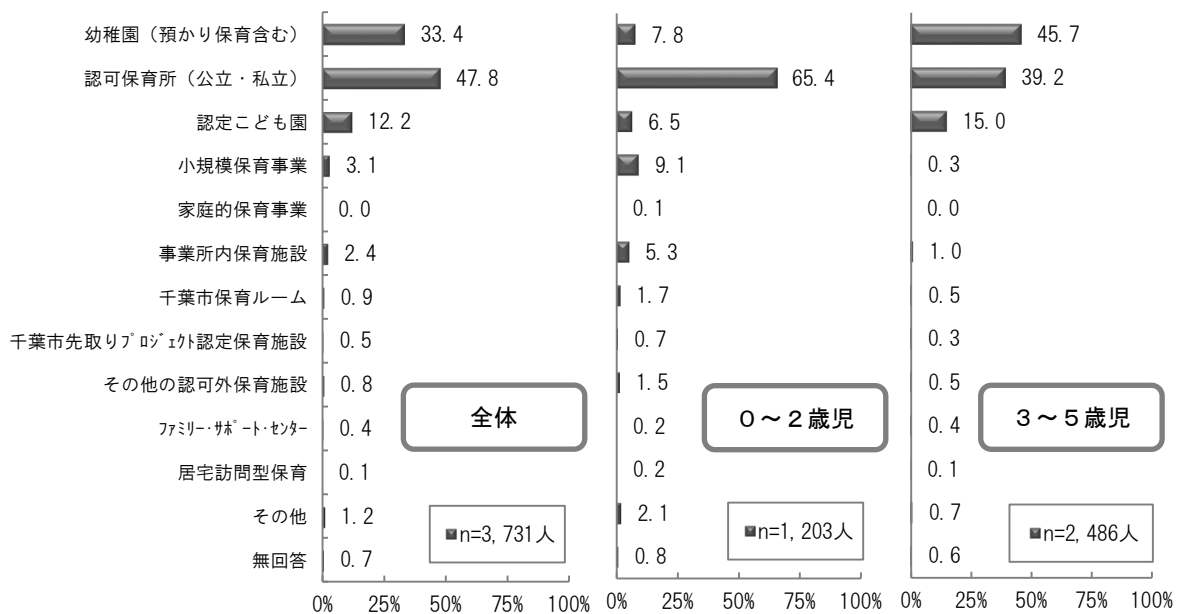
子どもが日常的に幼稚園・保育施設等を利用している者の割合は、回答者全体では 70.8%、0～2歳では 45.4%、3歳以上では 97.0%となっている。



【図表 2-2】日常的に利用している幼稚園・保育施設等

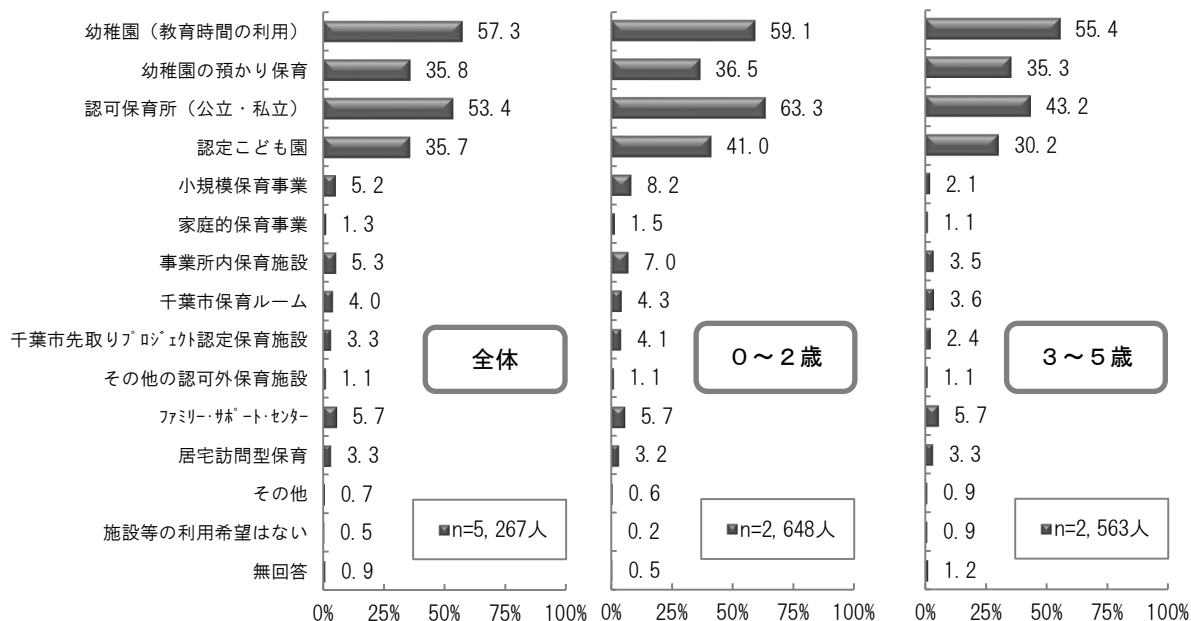
子どもが日常的に利用している施設等は、回答者全体では、「認可保育所」が 47.8%で最多、次いで「幼稚園」が 33.4%となっており、合計で8割近くを占めている。

年齢別にみると、0～2歳児は「認可保育所」(65.4%)、3～5歳児は「幼稚園」(45.7%)がそれぞれ最多となっている。

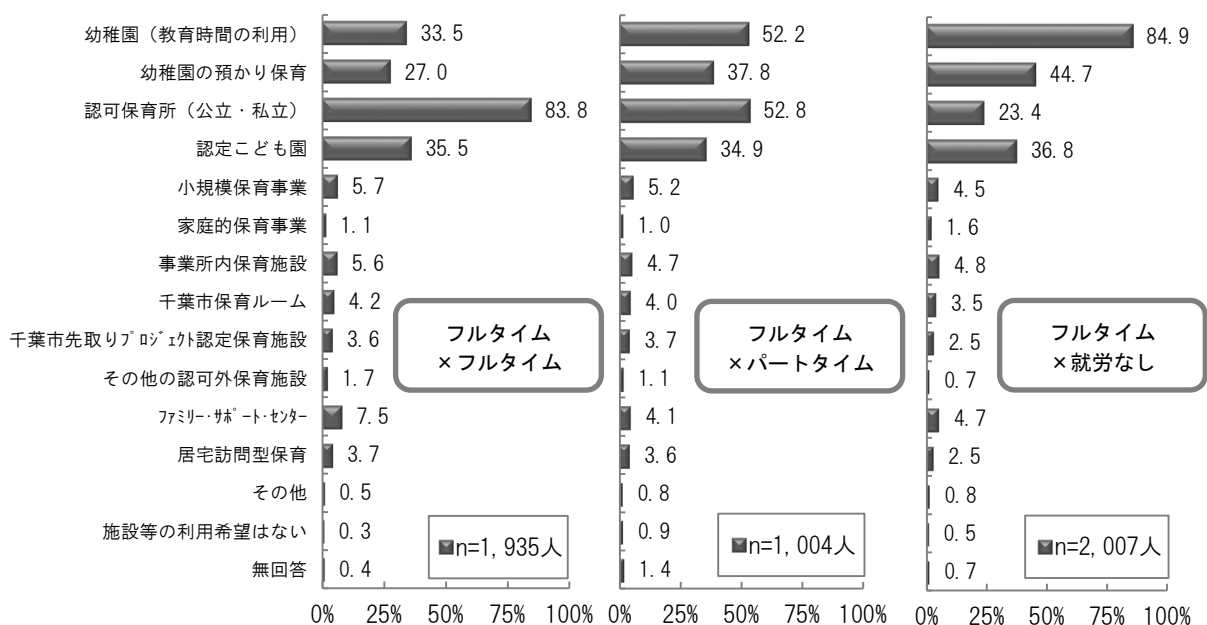


【図表 2-3】日常的に利用させたい幼稚園・保育施設等《複数回答》

「幼児教育・保育の無償化」が実施されていると仮定して質問した、現在の利用の有無にかかわらず今後日常的に子どもに利用させたい施設等は、回答者全体では、「幼稚園」（教育時間の利用）が57.3%で最多、次いで「認可保育所」（53.4%）、「幼稚園の預かり保育」（35.8%）、「認定こども園」（35.7%）となっている。年齢別にみると、0～2歳では「認可保育所」が最多だが、3～5歳では「幼稚園」が最多になっている。

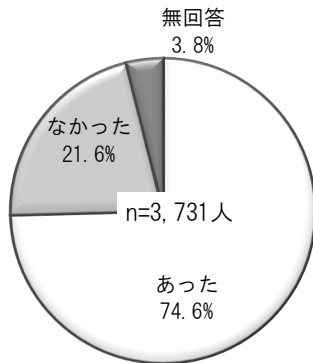


また、両親の就労状況別にみると、「フルタイム×フルタイム」と「フルタイム×パートタイム」では「認可保育所」（それぞれ83.8%と52.8%）、「フルタイム×就労なし」では「幼稚園」（教育時間の利用）（84.9%）が、それぞれ最多となっている。



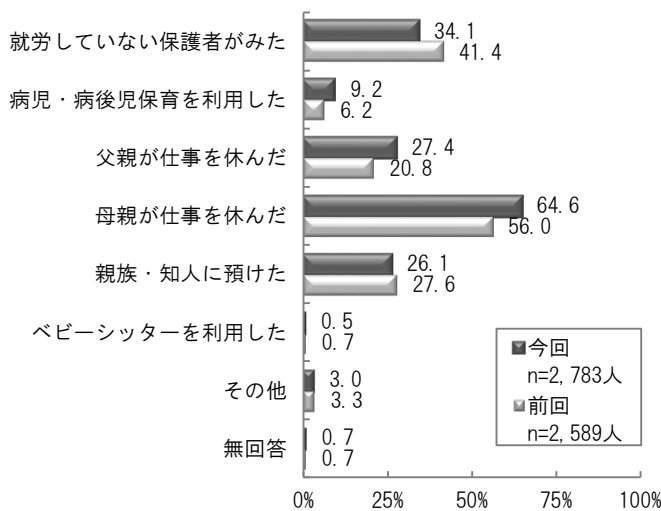
3 子どもの病気やケガの際の対応

【図表 3-1】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことの有無



現在、幼稚園・保育施設等を日常的に利用している者のうち、子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことが「あった」者の割合は74.6%となっている。

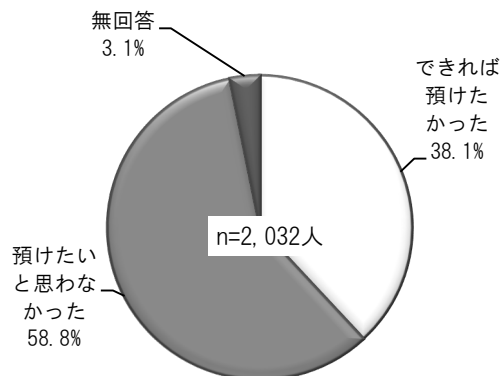
【図表 3-2】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応 ※複数回答



子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応方法は、「母親が仕事を休んだ」が64.6%で最多、次いで「就労していない保護者がみた」(34.1%)、「父親が仕事を休んだ」(27.4%)となっている。

【図表 3-3】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の病児・病後児保育等の

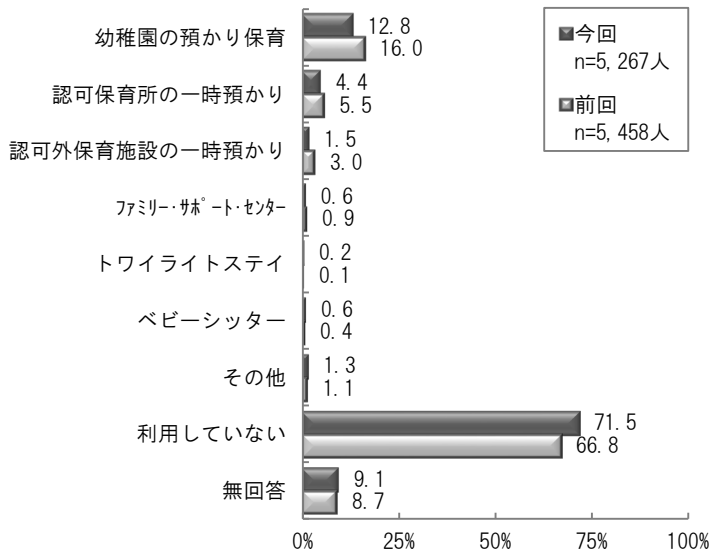
利用希望



子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったときに親が仕事を休んだりした者のうち、38.1%が、「できれば病児・病後児保育施設等に預けたかった」と回答している。

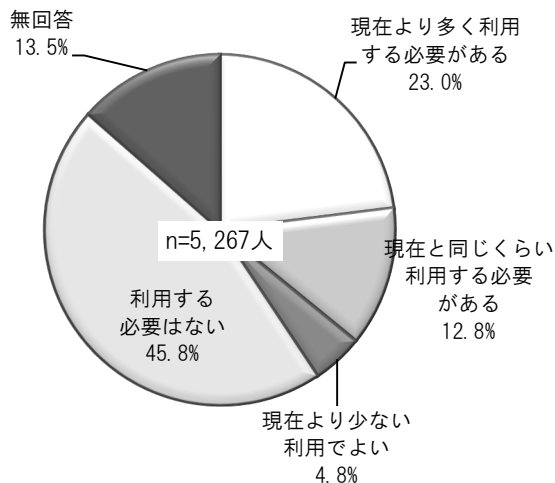
4 幼稚園・保育施設等の不定期の利用など

【図表 4-1】 不定期に利用している施設・サービス《複数回答》



保護者の不定期の就労や就労以外の理由により、子どもが不定期に利用している施設・サービスは、「幼稚園の預かり保育」が 12.8%、「認可保育所の一時的預かり」及び「認可外保育施設の一時的預かり」が合わせて 5.9%となっており、「利用していない」が 71.5%となっている。

【図表 4-2】 不定期の施設・サービスの利用希望（現在との比較）



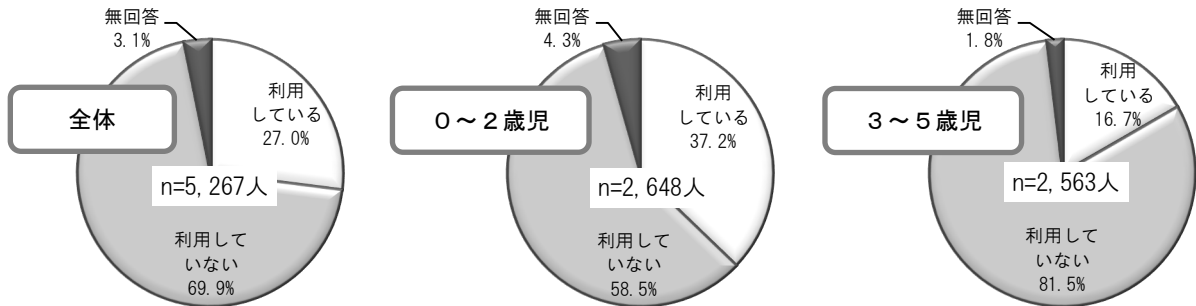
不定期に利用する施設・サービスの今後の利用希望は、「現在より多く利用する必要がある」が 23.0%、「現在と同じくらい利用する必要がある」が 12.8%、「利用する必要はない」が 45.8%となっている。

5 地域における子育て支援

【図表 5-1】現在の地域子育て支援拠点の利用の有無

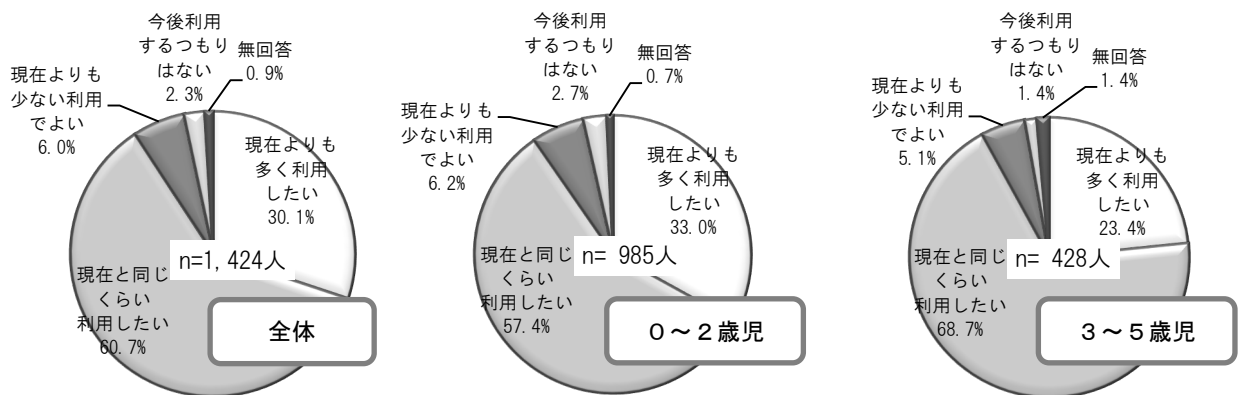
地域子育て支援拠点 … 子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、回答者全体では「利用している」が 27.0%となっており、年齢別にみると、年齢が低い方が「利用している」の割合が高くなっている。



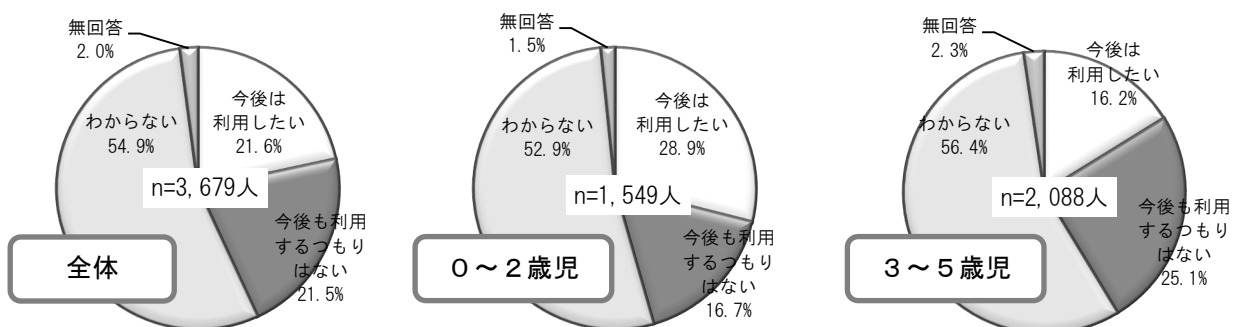
【図表 5-2】現在地域子育て支援拠点を利用している者の今後の利用希望（現在との比較）

現在地域子育て支援拠点を利用している者の今後の利用希望は、回答者全体では「現在と同じくらい利用したい」が 60.7%、「現在よりも多く利用したい」が 30.1%となっており、年齢別にみると、「現在よりも多く利用したい」が0～2歳では 33.0%と、3～5歳に比べて高くなっている。



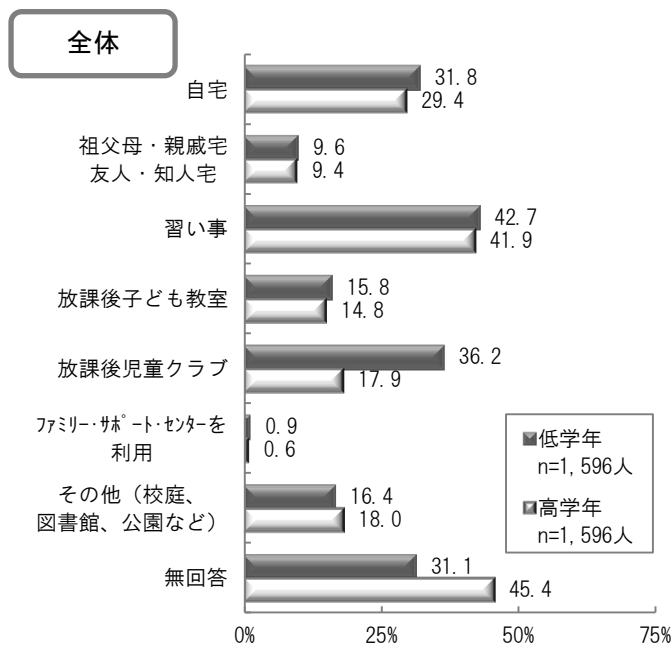
【図表 5-3】現在地域子育て支援拠点を利用していない者の今後の利用希望

現在地域子育て支援拠点事業を利用していない者の今後の利用希望は、回答者全体では「今後は利用したい」が 21.6%となっており、年齢別にみると、年齢が低い方が「今後は利用したい」の割合が高くなっている。



6 小学校就学後の放課後の過ごし方

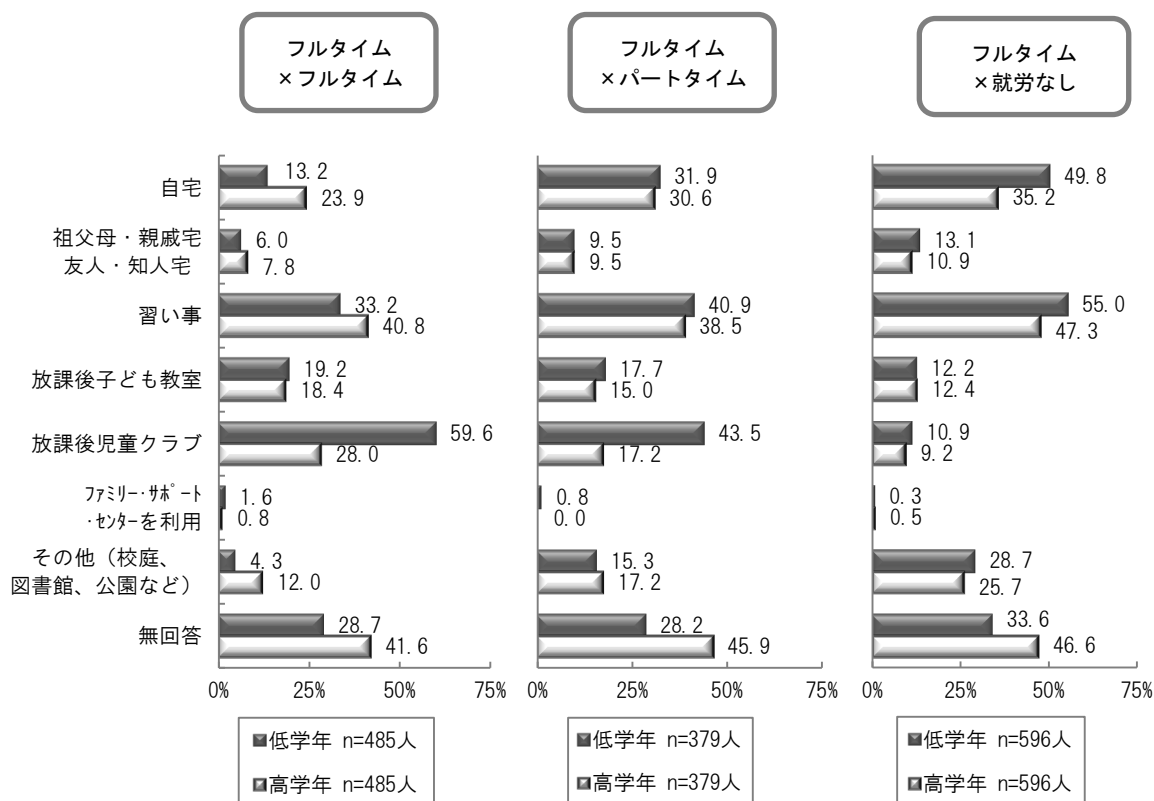
【図表6-1】小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（5歳児のみ）《複数回答》



子どもが小学校に就学した後の放課後（平日の授業終了後）の過ごし方に関する希望は、回答者全体でみると、低学年の期間については、「習い事」（42.7%）、「放課後児童クラブ」（36.2%）、「自宅」（31.8%）の順となっている。

高学年の期間も概ね同様の傾向であるが、「放課後児童クラブ」が低学年よりも低くなっている。

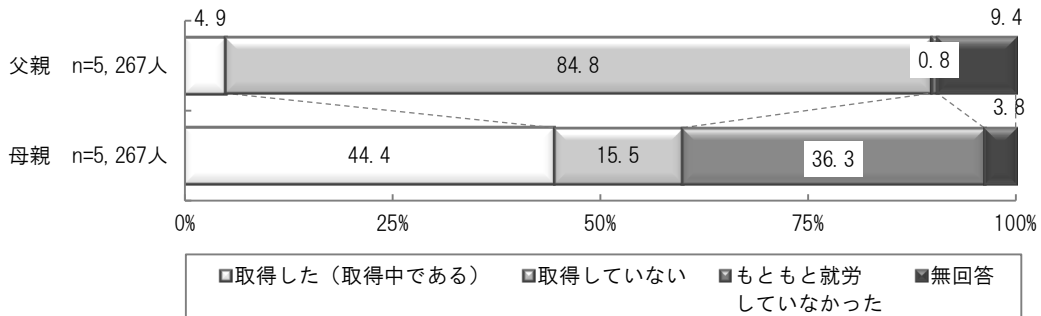
また、両親の就労状況別にみると、低学年は「フルタイム×フルタイム」と「フルタイム×パートタイム」では「放課後児童クラブ」（各59.6%、43.5%）が最多で、「フルタイム×就労なし」では「習い事」が55.0%で最多となっている。高学年はすべてにおいて「習い事」が最多（各40.8%、38.5%、47.3%）となっている。



7 保護者の育児休業の取得状況

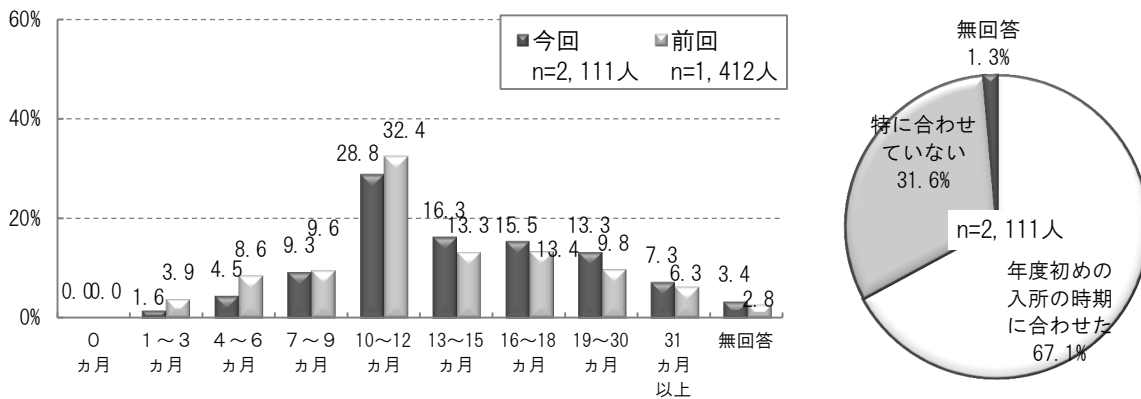
【図表 7-1】両親の育児休業の取得状況

調査対象の子どもが生まれたときの育児休業の取得状況は、母親は「取得した（取得中である）」が44.4%であるのに対して、父親は4.9%となっている。

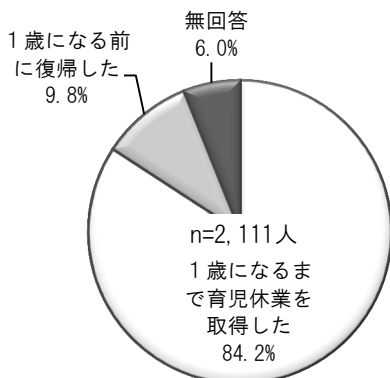


【図表 7-2】母親の育児休業取得期間と職場復帰時期

母親の育児休業の取得期間は、10～12カ月が28.8%で最多となっており、育児休業取得後に職場復帰した者の67.1%が、復帰時期を「年度初めの（保育所等の）入所時期に合わせた」と回答している。



【図表 7-3】1歳になった時に必ず預けられる保育所等がある場合の母親の育児休業取得希望期間



1歳になった時に必ず預けられる保育所等がある場合の育児休業取得希望期間について、育児休業を取得した母親の84.2%が「1歳になるまで育児休業を取得した」と回答している。

千葉市子ども・子育て支援ニーズ調査結果報告書
(小学校就学前児童向け)

【概要版】

平成31年3月発行

編集 千葉市こども未来局こども未来部幼保支援課

住所 〒260-8722 千葉市中央区千葉港2-1

千葉中央コミュニティセンター9階

連絡先 TEL 043-245-5977 FAX 043-245-5629